

認知症の薬の使い方とそのリスク

横浜

介護現場ではいま、画一的な処方と多剤併用によって
深刻な〈薬害〉が起こっている！

東京

2017年
日時：8月30日(水) 10:30～16:00

会場：ウィング横浜 (階会議室1)

(神奈川県横浜市港南区上大岡西 1-6-1
ゆめおおおかオフィスタワー内)

☆京浜急行「上大岡駅」より徒歩3分

2017年
日時：9月3日(日) 10:30～16:00

会場：総合ケアセンター駒場苑 (2階)

(東京都目黒区大橋 2-19-1)

☆京王井の頭線「駒場東大前」駅西口より徒歩5分

〈認知症介護&医療の全てが分かる1日コース〉

【講師】

ひがしだ つとむ
東田 勉



フリーライター。介護・福祉・医療分野の綿密な取材をもとに執筆した著書は多数。
2014年に刊行された『認知症の「真実」』（講談社現代新書）はベストセラーに。長尾和宏医師との共著『認知症の薬をやめると認知症がよくなる人がいるって本当ですか？』（現代書林）、村瀬孝生氏との共著『認知症をつくっているのは誰なのか』（SB新書）、近著に『親の介護をする前に読む本』（講談社現代新書）がある。

へ プ ロ グ ラ ム ▽	10:30 ~ 11:30	認知症医療の最前線の動き なぜ認知症はこんなに増えたのか／海外から批判されている日本の認知症対策／症状による4大認知症の見分け方／高齢になるほど増える合併と移行
	11:45 ~ 12:45 (昼食)	抗認知症薬のメリットとデメリット 中核症状とBPSDへの薬の使い分け／抗認知症薬の増量規定／いまさら聞けないアリセプトの作用と副作用／認知症のコミュニケーション障害にどう対応するか
	13:45 ~ 14:45	高齢者への薬物療法の極意 第一線の認知症医が導き出した結論／抗認知症薬が認知症を悪化させる／コウノメソッドの画期的な投与方法／リバスチグミンとシロスタゾール／意識障害とせん妄への対応
	15:00 ~ 16:00	介護職は何ができるのか デビルメソッドからお年寄りを救い出せ／声をあげ始めた医師たち／アルツハイマー病の真の問題とは何か／心理学からのアプローチと介護からのアプローチ

*受講料はお送りしません。満員でお断りする場合のみ一週間以内にご連絡申し上げます。

【受講料：6,000円】

*受講料は当日会場で承ります。

主催

なるほどケア塾

〒189-0011

東京都東村山市恩多町 3-39-13-101 榊円窓社内

お問い合わせ

☎042-306-3771

お申し込みはこちらへFax

Fax：042-306-3772

〈参加人数〉

〈参加者名〉

*施設の場合は施設名もご記入ください。

〈住所〉〒

(自宅・職場)

〈TEL〉

〈FAX〉

8/30(水) 横浜
()名

9/3(日) 東京
()名